



日本有機株式会社

2023 年度 環境経営レポート

(対象期間 2023 年6月1日～ 2024 年5月31日)



認証番号0009703



発行日： 2024年9月16日
改正日： 2024年9月19日

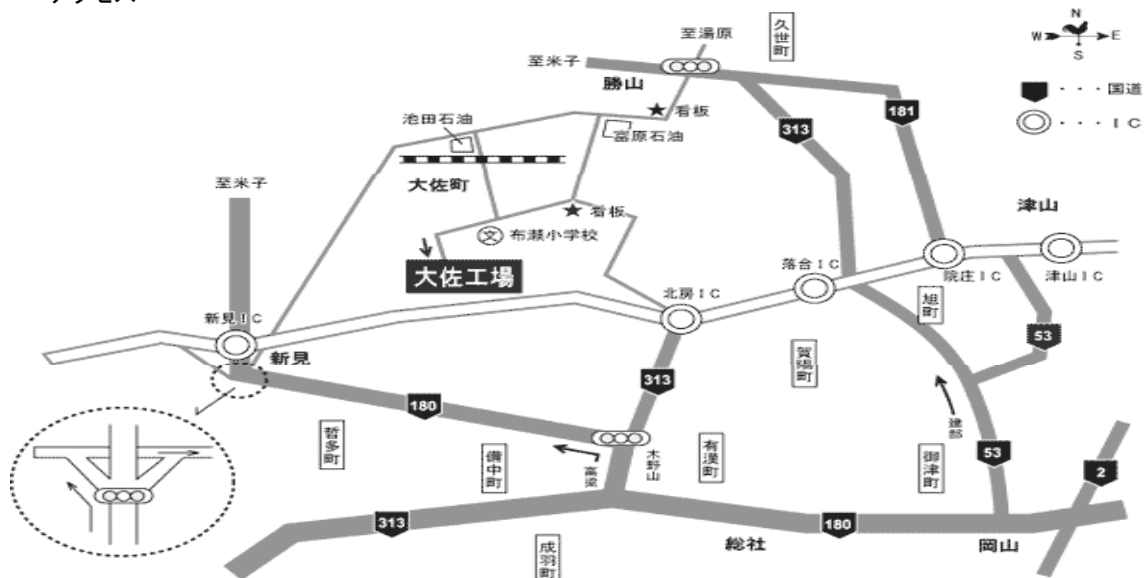
目 次

項 目	ページ
あいさつ 環境経営方針	3
組織の概要	4
環境経営組織図及び役割・責任・権限表	5
許可の内容	6
廃棄物処理フロー	7
主な環境負荷の実績	8
環境経営目標及びその実績	8
環境経営計画の取組結果とその評価	9～11
環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟等の有無	11
緊急事態対応訓練	12
代表者による全体の評価と見直し・指示	13
これまでの環境活動の紹介	13

主な商品



アクセス



I. ごあいさつ

環境経営方針

＜環境経営理念＞

当社は、産業廃棄物処理（中間処分 肥料化）及び産業廃棄物収集・運搬業を主とする事業活動を通じて、循環型社会の構築を目指すとともに、エコアクション21の活動により、環境負荷の低減を図るために、全社一丸となって自主的・積極的に環境への取り組みを推進します。又、環境経営の継続的改善に努めます。

＜環境保全への行動指針＞

- 1 . 環境関連法規制・条例や当社が約束したことを遵守します。
- 2 . 二酸化炭素排出量の削減を推進します。（電気、ガソリン、軽油、灯油、重油、LPG）
- 3 . 自社の廃棄物の削減及び再生利用または、適正処理を推進します。
- 4 . 排水量（或いは水道使用量）の削減を推進します。
- 5 . 受託資源（有機性廃棄物）の安定した肥料化を行います。
- 6 . 地域密着型の事業活動を行うとともに、地域の環境保全、環境美化活動の取組を積極的に行います。
- 7 . 本方針を全従業員に周知徹底いたします。

制定日：2013年2月1日

改定日：2022年8月1日

代表取締役 **中村 雅亘**

Ⅱ. 組織の概要

- (1) 名称及び代表者名
日本有機株式会社
代表取締役 中村 雅亘
- (2) 所在地
本社 岡山県岡山市北区下石井2丁目3番8号
大佐工場 岡山県新見市大佐布瀬12番地の2
- (3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先
責任者 中山 浩徳 TEL : 0867-98-3255
- (4) 事業内容
産業廃棄物の中間処理（肥料化）及び肥料製造・販売
（主要製品：土壌っこ、大地の恵み）
- (5) 事業の規模
法人設立 昭和56年6月2日
資本金 10,000 万円
売上高 39,309 万円 （2023年度）

	大佐工場
従業員	14
延べ床面積	5,605㎡

受託した産業廃棄物

収集運搬量	0 t		
中間処理量	25,624 t	うち再資源化量	25,624 t
最終処分量	0 t		
中間処理後の産物の処分量	0 t	うち再資源化量	0 t

構内作業車

車種	台数	仕様
ホイローダー	3 台	TCM 2.2㎡～3.3㎡、3.0㎡、コマツ 2.7㎡
リフト	8 台	TCM 3t、2.5t、2t トヨタ 3t

産業廃棄物収集・運搬車両およびその他の車両

キャブオーバー	2 台	6t平ボディ、15t平ボディ
ダンプ	2 台	4t、10t
アームローラー	2 台	10t
軽四トラック	2 台	
合計	8 台	

工場内設備機器

名称	台数	備考
ペレタイザー	1 基	PM-550ペレットミル
包装機	1 基	3CM - P
パレタイジングロボット	1 基	EH - 705
攪拌装置1号機	1 基	搬送能力：20㎡/1稼働
攪拌装置2号機	1 基	搬送能力：20㎡/2稼働
トロンメル	1 基	
脱臭機	5 基	

- (6) 事業年度
6月～翌年5月

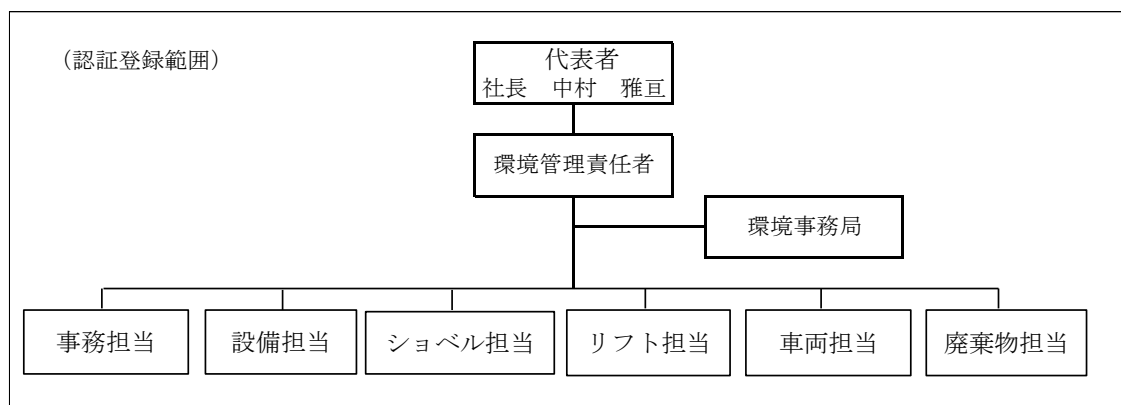
Ⅲ. 認証・登録の対象組織・活動

登録組織名： 日本有機株式会社
対象事業所： 大佐工場
活動： 産業廃棄物の中間処理（肥料化）及び肥料製造・販売

Ⅳ. 事業の紹介

当社は、有機資材を国内・国外から集め、発酵及び化学処理により、土に優しい、肥料効果の高い製品作りに専念しております。20数年間、あらゆる果樹・野菜作りに適した普通肥料、特殊肥料、土壌肥料を作り、全国の皆様にご愛顧いただいております。

V. 環境経営組織図及び役割・責任・権限表



	役割・責任・権限
代表者（社長）	・環境経営に関する統括責任 ・環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間等経営資源を準備 ・環境管理責任者を任命 ・経営の課題とチャンスの整理、明確化 ・環境経営方針の策定・見直し ・環境経営目標・環境経営計画書を承認 ・代表者による全体の評価と見直し、指示 ・環境経営レポートの承認
環境管理責任者	・環境経営システムの構築、実施、管理 ・環境関連法規等の取りまとめ表を承認 ・環境経営目標・環境経営計画書を確認 ・環境活動の取組結果を代表者へ報告 ・環境経営レポートの確認
環境事務局	・環境管理責任者の補佐 ・環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施 ・環境経営目標、環境経営計画書原案の作成 ・環境活動の実績集計 ・環境関連法規等取りまとめ表の作成及び最新版管理 ・環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口 ・環境経営レポートの作成、公開（事務所に備付けと地域事務局への送付） ・環境経営計画の審議 ・環境活動実績の確認・評価
部門長	・自部門における環境経営方針の周知 ・自部門の従業員に対する教育訓練の実施 ・自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告 ・時部門に必要な手順書の作成及び手順書による実施 ・自部門の想定される事故及び緊急事態への対応のための手順書作成 ・試行・訓練を実施、記録の作成 ・自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
内部監査チーム	・環境に関する内部監査の計画 ・環境に関する内部監査の実施・報告
全従業員	・環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 ・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

VI. 許可の内容

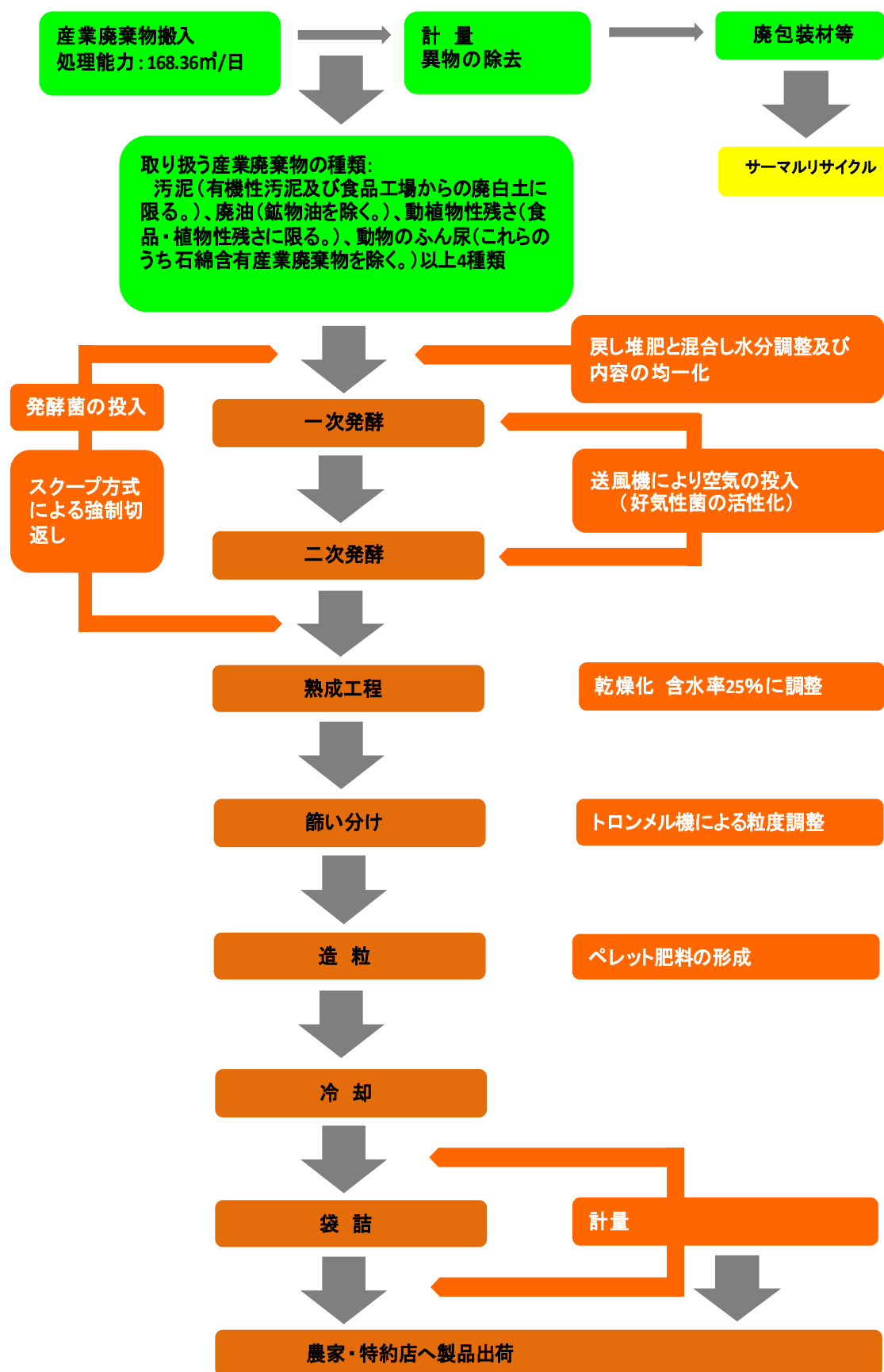
産業廃棄物収集運搬業許可の内容

許可区域	許可番号	許可年月日	許可有効年月日	積替保管	廃棄物の種類														
					燃え殻	汚泥	廃プラスチック	木くず	紙くず	繊維くず	ゴムくず	ガラス・コンクリート・陶器くず	がれき類	廃油	廃酸	廃アルカリ	金属くず	動植物性残さ	動物のふん尿
岡山県	第03306006740号	令和5年8月1日	令和10年7月31日	無		○								○				○	○
兵庫県	第2804006740号	令和5年11月17日	令和10年11月16日	無		○								○				○	○
大阪府	第02700006740号	令和6年9月30日	令和11年9月29日	無		○								○				○	
京都府	第02600006740号	平成30年4月9日	令和10年3月24日	無		○												○	
香川県	第03709006740号	令和2年3月26日	令和7年3月25日	無		○								○				○	

産業廃棄物処分業許可の内容

許可区域	許可番号	許可年月日	許可有効年月日	事業の範囲	廃棄物の種類											
					汚泥	木くず	紙くず	繊維くず	ガラス・コンクリート・陶器くず	がれき類	廃油	燃えがら	金属くず	動植物性残さ	動物のふん尿	
岡山県	第03326006740号	令和5年8月1日	令和10年7月31日	中間処理												
				発酵による肥料の製造	○						○			○	○	

VII. 廃棄物処理フロー



VIII. 主な環境負荷の実績

項 目	単位	2021年	2022年	2023年
二酸化炭素総排出量	kg-CO ₂	1,316,087	1,419,119	1,268,633
電力使用量	kWh	2,130,376	2,061,067	1,918,655
ガソリン使用量	L	1,195	1,437	1,305
軽油使用量	L	92,423	90,377	99,360
灯油使用量	L	5,064	7,859	4,005
重油使用量	L	60,000	108,000	69,600
LPG使用量	m ³	399	367	286
受託収集運搬量	トン	0	0	0
受託中間処理量	トン	24,437	22,910	25,624
受託最終処分量	トン	0	0	0
廃棄物排出量	kg	12,720	35,580	13,242
一般廃棄物排出量	kg	560	540	537
産業廃棄物排出量	kg	12,160	35,040	12,705
水使用量	m ³	2,948	2,610	2,745

電力の二酸化炭素排出係数は関西電力の2022年度の実績値0.420kg-CO₂/kWh（調整後）を使用
化学物質の使用はありません

IX. 環境経営目標及びその実績

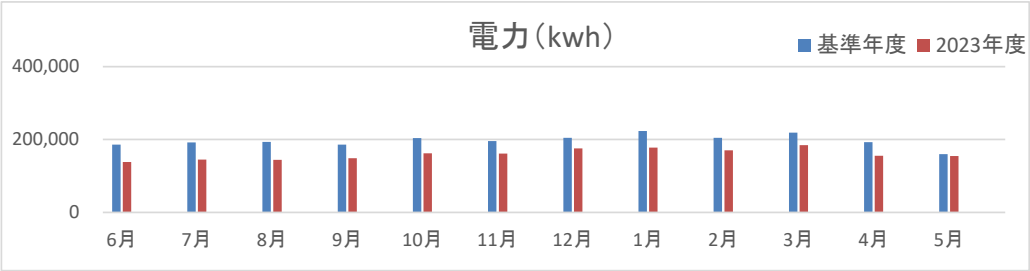
		基準値	2023年		評価	2024年	2025年	
		(基準年)	(目標)	(実績)		(目標)	(目標)	
電力による二酸化炭素削減	kwh-CO2	992, 374	962, 603	805, 835	○	952, 679	942, 756	
	基準年度比	2020年	97%	81%		96%	95%	
ガソリンによる二酸化炭素削減	L-CO2	1, 889	1, 833	3, 028	×	1, 814	1, 795	
	基準年度比	2020年	97%	160%		96%	95%	
軽油による二酸化炭素削減	L-CO2	285, 634	277, 065	260, 324	○	274, 209	271, 352	
	基準年度比	2020年	97%	94%		96%	95%	
ガスによる二酸化炭素削減	m ³ -CO2	1, 180	1, 144	857	○	1, 132	1, 121	
	基準年度比	2020年	97%	73%		96%	95%	
灯油による二酸化炭素削減	L-CO2	10, 899	10, 572	9, 972	○	10, 463	10, 354	
	基準年度比	2020年	97%	92%		96%	95%	
重油による二酸化炭素削減	L-CO2	322, 490	312, 815	188, 616	○	309, 590	306, 366	
	基準年度比	2020年	97%	58%		96%	95%	
上記二酸化炭素排出量合計		kg-CO2	1, 614, 466	1, 566, 032	1, 268, 633	○	1, 549, 887	1, 533, 743
一般廃棄物の削減	kg	620	601	537	○	595	589	
	基準年度比	2020年	97%	87%		96%	95%	
産業廃棄物の削減	kg	11, 640	11, 291	47, 975	×	11, 174	11, 058	
	基準年度比	2020年	97%	412%		96%	95%	
水使用量の削減	m ³	3, 288	3, 190	2, 745	○	3, 157	3, 124	
	基準年度比	2020年	97%	83%		96%	95%	
受託実績	t	27, 444	28, 267	25, 624	×	28, 542	28, 816	
	基準年度比	2020年	103%	93%		104%	105%	
環境に適した製品の販売促進	t	11, 507	11, 852	11, 956	○	11, 967	12, 082	
	基準年度比	2020年	103%	104%		104%	105%	

※環境に適した製品とは、廃棄物から製造した安心安全な堆肥

X. 環境経営計画の取組結果とその評価

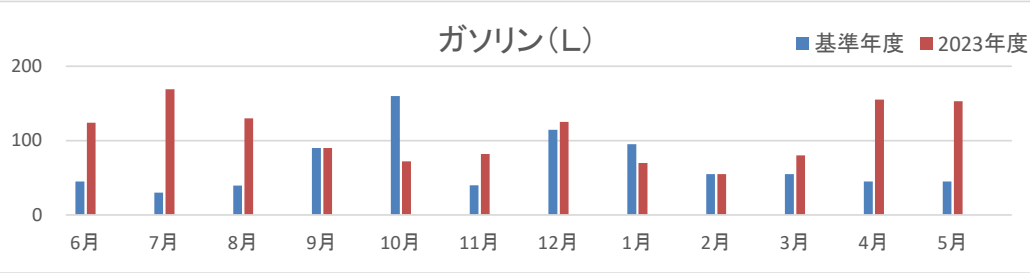
数値目標：○達成 ×未達成

電力による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	数値目標は達成できたので引続き取組を継続する。
・エアコンの温度管理	○	
・設備機器の空運転防止	○	
・照明管理	○	



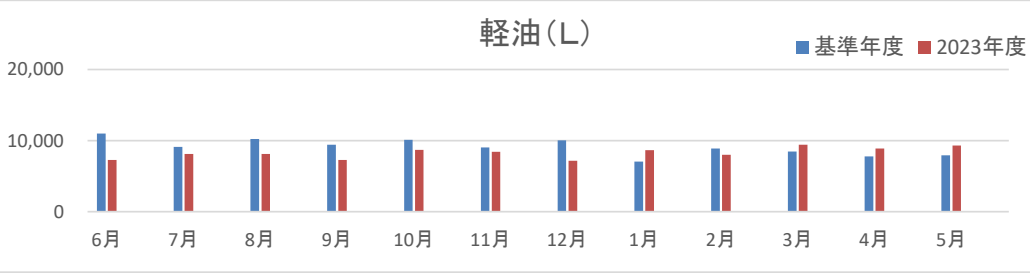
	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	合計
基準年度	185,927	191,820	193,712	186,360	203,959	195,536	205,069	223,564	204,978	218,948	193,070	159,853	2,362,796
2023年度	137,971	144,642	143,902	148,896	162,094	161,178	175,853	178,216	170,558	184,608	155,788	154,949	1,918,655

ガソリンによる二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	×	社用車の利用機会が増えたことで使用量が大幅に増加してしまった。来年度はより一層アイドリングストップ、適正な車両の整備等を徹底し目標達成に向けて取り組んでいく。
・アイドリングストップ	○	
・適正な車両の整備	○	



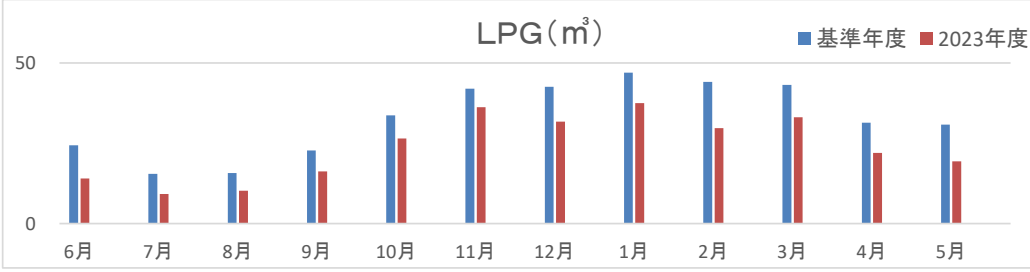
	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	合計
基準年度	45	30	40	90	160	40	115	95	55	55	45	45	814
2023年度	124	169	130	90	72	82	125	70	55	80	155	153	1,305

軽油による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	数値目標は達成できたので引続き取組を継続する。
・アイドリングストップ	○	
・適正な車両の整備	○	



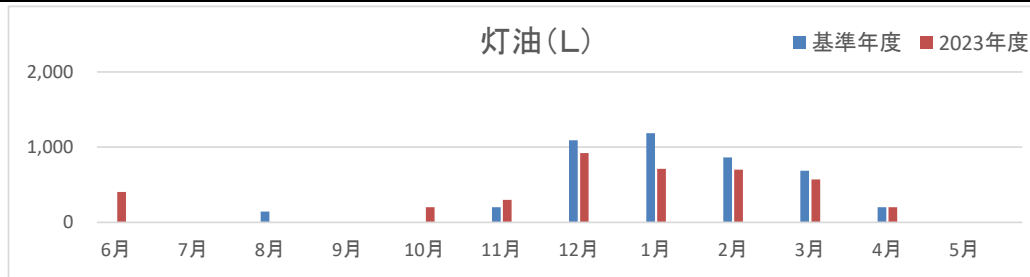
	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	合計
基準年度	10,979	9,131	10,210	9,428	10,126	9,032	10,039	7,049	8,866	8,462	7,784	7,914	109,021
2023年度	7,281	8,117	8,119	7,276	8,697	8,440	7,155	8,649	8,018	9,407	8,899	9,302	99,360

ガスによる二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	数値目標は達成できたので引続き取組を継続する。
・節約ステッカーの掲示	○	

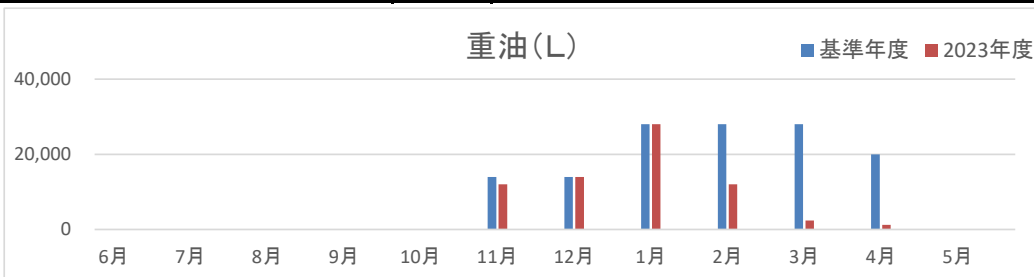


	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	合計
基準年度	24	16	16	23	34	42	43	47	44	43	31	31	393
2023年度	14	9	10	16	27	36	32	38	30	33	22	19	286

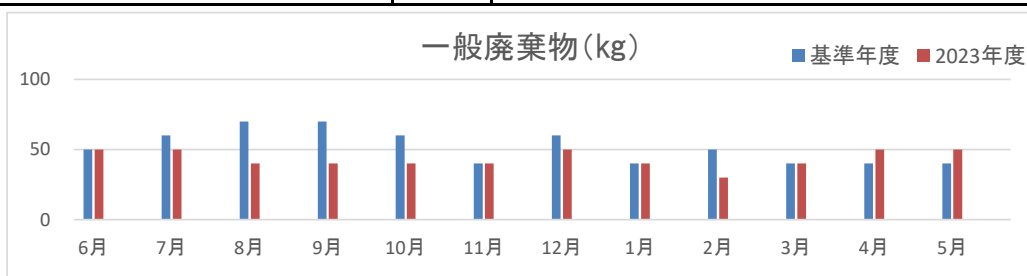
灯油による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	数値目標は達成できたので引続き取組を継続する。
・気温管理による暖房制限	○	
・不要時の電源OFF	○	



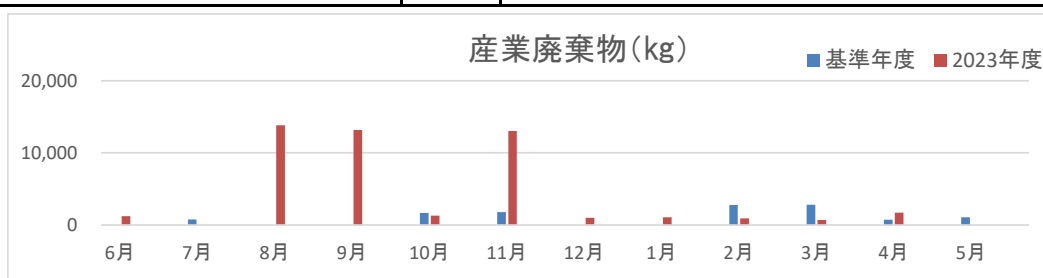
重油による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	数値目標は達成できたので引続き取組を継続する。
・設備の空運転防止	○	



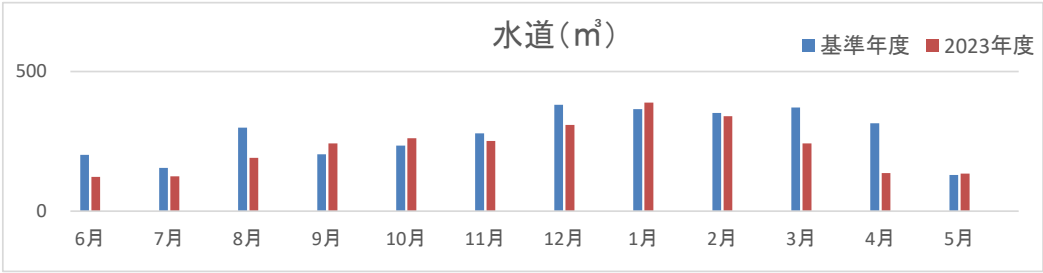
一般廃棄物の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	数値目標は達成できたので引続き取組を継続する。
・分別によるリサイクルの推進	○	



産業廃棄物の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	×	木製パレットの劣化、破損により廃棄量が増えた。来年度は分別・再利用活動に取り組み目標を達成したい。
・分別によるリサイクルの推進	○	

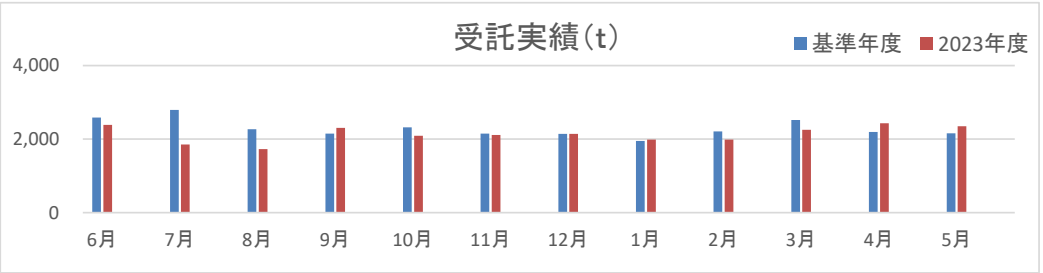


水使用量の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	数値目標は達成できたので引続き取組を継続する。
・節水意識の向上	○	
・樹木水遣りの効率化	○	



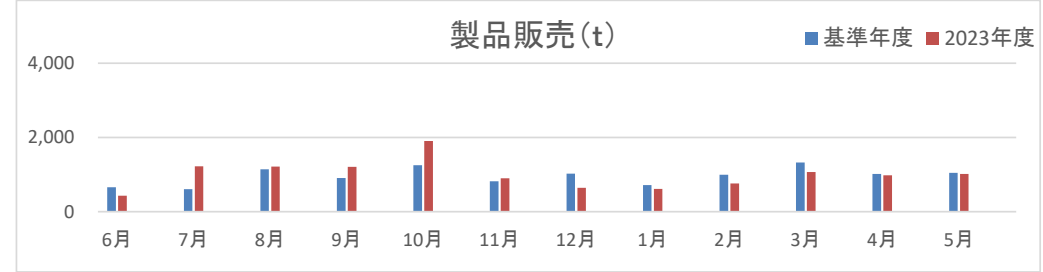
	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	合計
基準年度	202	155	299	204	235	279	381	365	352	371	315	130	3,288
2023年度	123	125	191	243	261	251	309	389	340	243	136	134	2,745

受託実績	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	×	得意先の排出量減少が目標未達の要因となった。来年度は新規顧客の獲得を目指し、受託量増加に向けて取り組んでいく。
・新規顧客の獲得	○	



	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	合計
基準年度	2,589	2,791	2,267	2,150	2,322	2,148	2,139	1,953	2,212	2,522	2,197	2,154	27,444
2023年度	2,384	1,854	1,725	2,309	2,089	2,110	2,146	1,984	1,988	2,252	2,434	2,349	25,624

環境に適した製品の販売促進	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	目標未達の月もあるが、累計では目標を達成できた。来年度は原料の見直しを行うが国内外に向けての出荷量増加、グループ会社への供給を増やせるよう取り組んでいく。
・市場・顧客情報の調査	○	
・積極的な営業活動	○	



	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	合計
基準年度	657	606	1,144	904	1,254	819	1,022	715	995	1,323	1,020	1,048	11,507
2023年度	430	1,224	1,213	1,209	1,905	897	643	613	762	1,066	977	1,017	11,956

XI. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟の有無

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りです。

適用される法規制	遵守の有無	適用される事項（施設・物質・事業活動等）
廃棄物処理法	有	中間処理業、産業廃棄物（汚泥、動植物性残さ、動物のふん尿、廃油等）の適切な処分
肥料取締法	有	肥料の登録・届出、成分の保証・品質の表示
悪臭防止法	有	臭気の測定、6段階臭気強度表示法による感応チェック
騒音規制法	有	特定施設の届出、地域別騒音基準の順守
振動規制法	有	特定施設の届出、地域別振動基準の順守
水質汚濁法	有	特定施設の届出、排水濃度の測定・記録
消防法	有	消火設備の定期点検、少量危険物の届出・点検
家電リサイクル法	有	特定家電製品廃棄時の適切な処分

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は全て遵守されていました。

なお、違反、訴訟等も過去3年間ありませんでした。

XII. 緊急事態対応訓練

緊急事態の想定： 火災の発生	
■実施日： 2023年8月4日	■実施場所 日本有機(株) 大佐工場
■参加者： 全員	■実施内容 消火手順の確認 ・通報訓練、消火訓練、避難訓練
■評価： 全員が消火手順を確認できた。	手順書の変更の必要 ☐ あり ☒ なし
■実施状況の様子	
	

XⅢ. 代表者による全体の評価と見直し・指示

代表取締役 中村 雅亘 実施日：2024年9月16日

エコアクション21の取り組みも10年目に入り、基準年度も見直し新目標を設定することで改めて全従業員に環境活動に取り組む意識強化を図りました。その結果目標を概ね達成できました。しかし個別の項目ではガソリンの使用量及び産業廃棄物の排出量が目標を達成することができなかった。これらは今後の新たな課題として次年度以降目標達成に向けて取り組んでいきたい。近年受託量の減少が続いており事業運営が厳しい状況下ではあるが、受託量の増加も必須目標とし、それに伴い排出量増加とならないよう創意工夫し、従業員一同意識を持って取り組んでいきます。

環境経営方針	☒ 変更なし	☐ 変更あり
環境経営目標・計画	☒ 変更なし	☐ 変更あり 実績を踏まえて見直す
実施体制	☒ 変更なし	☐ 変更あり

XⅣ. これまでの環境活動の紹介

2014年 LED照明設置



2015年 消火訓練



2016年 美化活動



2017年 消火訓練



2018年 美化活動



2019年 消火訓練



2020年 美化活動



2021年 消火訓練



2022年 美化活動



2023年 消火訓練



2024年 美化活動



XⅤ. 編集後記

年々、取組の内容がマンネリ化しており、違う観点により環境負荷低減を考えることが必要である。次年度は、これまでの実績を振り返り各取組を丁寧に見直し、さらに精度を上げていきたい。